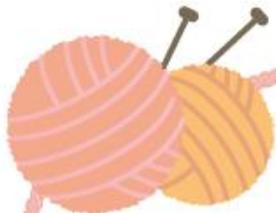


鹿児島東高校・高等特別支援学校図書館だより

# とうてんびより 東天日和

令和3年12月号

発行：鹿児島東高等学校  
高等特別支援学校合同図書館



2021年も残りわずかとなりました。

今年、図書館として特に印象に残った本は、  
上半期に芥川賞を受賞し、インパクトあるタイトルで見る人の興味を  
惹いた、宇佐見りんさんの『**推し、燃ゆ**』、

TikTokで取り上げられて話題となり緊急重版、図書館にも問い合わせ  
があった、筒井康隆さんの『**残像に口紅を**』、

鹿児島県出身作家で新刊が出るたびに手に取られ、デビュー作の  
『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』は今でも定期的に貸出  
される、**汐見夏衛さん**作品  
でしょうか。

12月には『ソード・アート・オンライン』の新刊や  
『エブリスタ5分後シリーズ』も新たに入ってきます。  
ぜひチェックしてくださいね！



## ♪冬休み特別貸出のお知らせ♪

【開始日】 **12月13日(月)**

【貸出冊数】 **5冊**

【返却日】 **1月11日(火・始業式)**

貸出本を延滞している人は、冬休み前までに  
至急返却をしてください！！



12月の図書館特集

# 『Merry Christmas』

クリスマスの物語や絵本，料理やオーナメントの作り方，由来や世界での祝い方など，色々な角度からクリスマスにまつわる本を集めています。

語り継がれている名作から最近発行されたものまで，様々なクリスマスにぜひ触れてみてください。

## ★新しく入ったクリスマスの本★

『クリスマス・ピッグ』 J・K・ローリング／著 静山社／発行

『いろいろクリスマスツリー』 おおでゆかこ／著 アリス館／発行

『クリスマスマーケットのふしぎなよる』 たなか鮎子／著  
かんき出版／発行



## 本のリクエスト締め切りのお知らせ

今年度の本のリクエスト受付は，**12月15日**までとなっています。

これを逃したら，次は来年の4月まで本の購入はありません。

リクエストしたい本がある人は，急いで図書館まで！



# 12/4～12/10は『人権週間』

1948年12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択され、12/4～12/10は人権週間、12/10は「世界人権デー」となりました。

今から73年前のことでありながら、今でも世界の、日本の、私たちの身近なあらゆる場所で、沢山の人々の人権が侵害されています。

「人権」というと何だか堅苦しい感じがしますが、私たちが社会を生きていく上で絶対に忘れてはならず、また身につけておかなければならない「人権意識」。人権週間を機に、どうか身近なところから自分の人権、他者の人権について考えてみてはどうでしょう。

## ●人権について知ることのできるおすすめ本●

『はじめてよむ世界人権宣言』 アムネスティ・インターナショナル日本支部／編  
小学館／発行

世界人権宣言全30条を、各界で活躍している30人が1人1条ずつ、自由に読んで考えたコラム集。どうか皆さんもこの宣言を、自由に読んでみてください。

『人権で世界を変える30の方法』 ヒューマンライツナウ／著 合同出版／発行

「この本を手にとってくれて、ありがとう」

そんなお礼から始まる、人権侵害の実態、人権の歴史、これまで人権で世界を変えてきた人達、人権侵害をなくしていく世界的な仕組み…そして誰もが明日からできることを提案する、真摯な人権本。

『この世界を知るための大事な質問』 野沢亘伸／著 宝島社／発行

「この少年はなぜ外灯の下で本を読んでいるのでしょうか？」

「家の前に座っている髪の短い女の子は、ある日、突然いなくなり、1年後に帰ってきました。何があったのでしょうか？」

日本ユニセフ協会の現地視察に同行取材したカメラマンが写した、8カ国に生きる人々の現実。かつて世界で起こっていたこと、今世界で起こっていること、そしてこの先の世界はどうなるのか、生々しい写真と共に添えられた質問と一緒に、どうか考えてみてください。

**『すべての子どもたちのために 子どもの権利条約』 キャロライン・キャッスル／著  
ぼるぷ出版／発行**

1989年11月20日、第44回国連総会で『子どもの権利条約』は生まれました。

生きる権利、大きくなる権利、名前や国籍を持つ権利、学んだり遊んだりする権利などが、全54条の条文で綴られています。

この本は、そんな難解な条文をシンプルな表現にし、世界的に有名な画家が条文ごとに絵を描いた、子どもに分かりやすい『子どもの権利条約』の絵本です。

**『えほん障害者権利条約』 ふじいかつりのり／著 汐文社／発行**

2006年12月13日の第61回国連総会で、21世紀初の人権条約となる『障害者権利条約』が生まれました。

権利条約は今の社会へのイエローカードであり、「こんな社会をめざしましょう」と指し示す北極星です。

障害者権利条約がどのようなものであるのか、日本ではいつ、どのように受け入れ、どんな効力を発揮しているのか。まずは簡単な絵本から知ってみてください。

**『世界の女性問題』①～③ 井上輝子／監修 汐文社／発行**

① 貧困, 教育, 保健 ② 暴力, 差別, 戦争 ③ 政治, 仕事, ジェンダー

の3巻から成る, 世界中で見られるジェンダーによる差別や不平等について, テーマ別に実例を挙げて紹介し, その背景を解説している本。

昨今, 「ジェンダー」という言葉をよく耳にしますが, ジェンダー問題は決して最近生まれたものではなく, ずっとすぐそばにあったものによく声があげられ, 聞こえるようになったのだと, その根深さがよく分かります。

**『マンガでわかるLGBTQ』 パレットーク／著 講談社／発行**

さまざまなセクシュアリティやジェンダーについてのリアルな体験談を, 可愛い絵柄の短編マンガで紹介しています。

誰もが「私はこう生きてよい」と素直に思える社会になるには, 国の制度はもちろん, 私たちひとりひとりの意識が大事なのだと, ひとつひとつの体験談が教えてくれます。

